

第1回しずおか食の安全推進委員会 次第

日 時：令和7年10月17日（金）14時～15時

場 所：県庁西館4階第一会議室B

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

（1）現行「しずおか食の安全推進のためのアクションプラン」の評価・課題について

（2）次期「しずおか食の安全推進のためのアクションプラン」基本方針(案)の策定について

4 その他

5 閉 会

第1回 しずおか食の安全推進委員会 出席者

	職 名	氏 名	備 考
委員長	健康福祉部長	青山 秀徳	
委 員	危機管理監代理 兼L G X推進官	森 統彦	(代理出席) 危機管理部参事 西島 左近
	くらし・環境部部長代理 兼L G X推進官	杉本 昌一	
	経済産業部部長代理 兼L G X推進官	川田 剛宏	
	教育部理事 (総括・新図書館担当)	山下 英作	(代理出席) 健康体育課長 夏目 伸二

	職 名	氏 名
幹事長	健康福祉部生活衛生局長	米倉 克昌
事務局	健康福祉部生活衛生局 衛生課長	阿部 冬樹
	健康福祉部生活衛生局衛生課 食品乳肉衛生班長	寺井 映水子
	健康福祉部生活衛生局衛生課 食品乳肉衛生班 専門主査	山田 裕貴

令和7年度
第1回しずおか食の安全推進委員会

— 資 料 —



日 時：令和7年10月17日（金）14時～15時
場 所：県庁西館4階第一会議室B

配 布 資 料

資料 1 「しずおか食の安全推進のためのアクションプラン（2022-2025）」事業実績
評価

資料 2 「しずおか食の安全推進のためのアクションプラン（2026-2028）」基本方針
（案）

資料 3 新アクションプラン【施策体系】（案）

資料 4 令和 7 年度しずおか食の安全推進委員会関係日程

参考資料 1 新「しずおか食の安全推進のためのアクションプラン」の策定

参考資料 2 しずおか食の安全推進委員会設置要綱

参考資料 3 しずおか食の安全推進のためのアクションプラン（2022-2025）

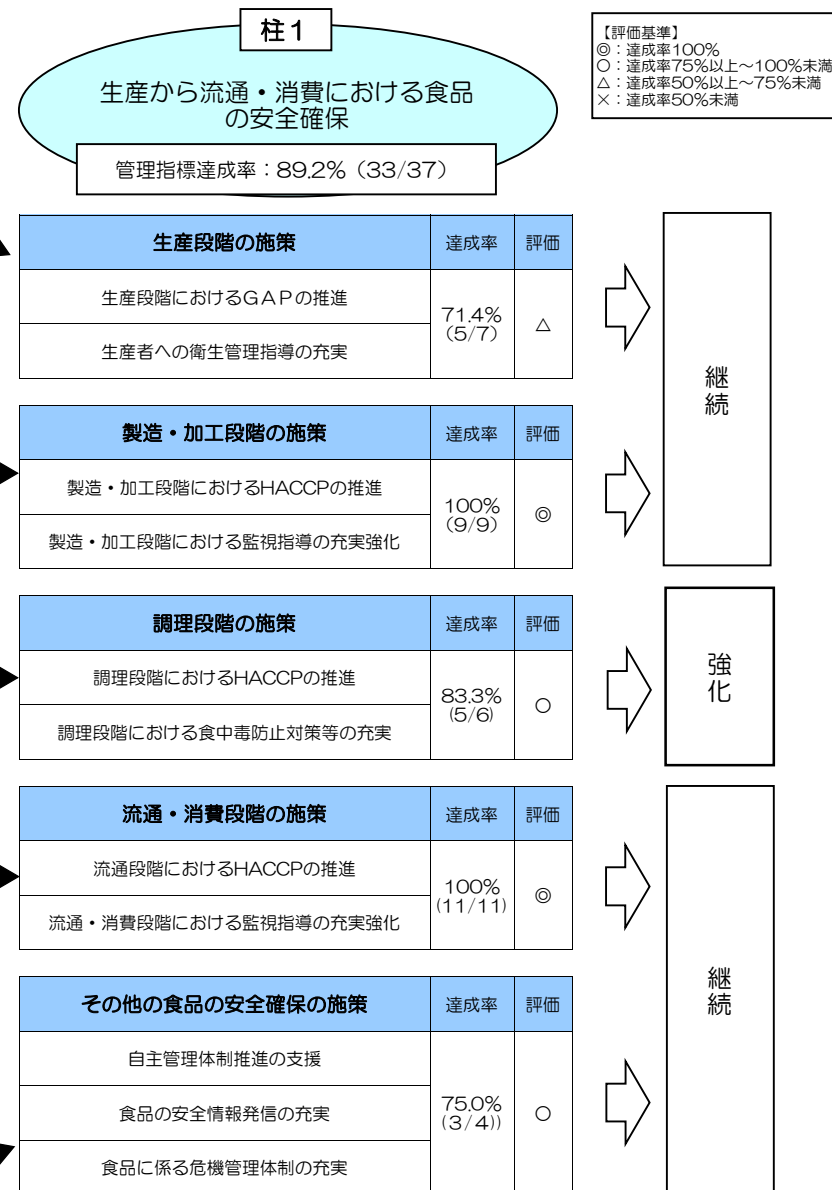
「しずおか食の安全推進のためのアクションプラン（2022-2025）」事業実績評価

1 生産から流通・消費における食品の安全確保

資料1

成果目標		2022年度	2023年度	2024年度	目標値	達成
人口10万人当りの食品を原因とする健康被害の発生日数		4.4人	10.0人	11.2人	10人以下	×

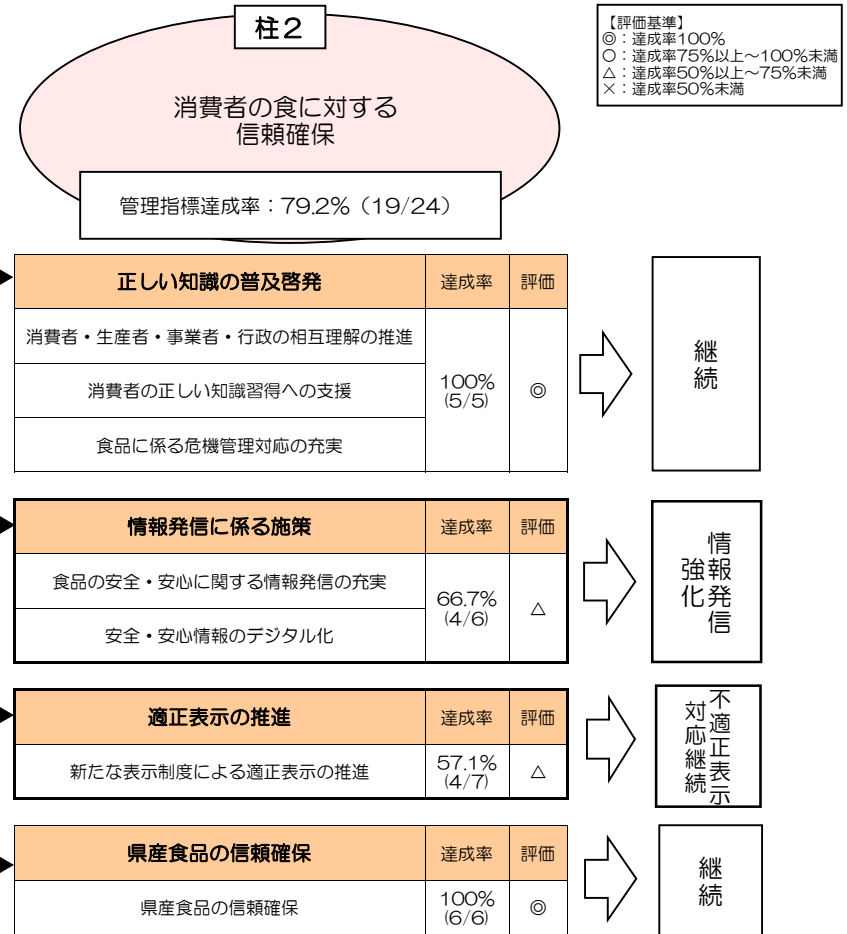
1 生産段階の施策	生産段階におけるGAPの推進	2022年度	2023年度	2024年度	目標値	達成
	生産者のGAP導入への支援（認証を取得した農場数）	3,600農場	3,294農場	3,087農場	4,500農場	×
	生産者への衛生管理指導の充実	2022年度	2023年度	2024年度	目標値	達成
	農業・肥料適正使用管理体制強化（農業取締法違反事例数）	0件	2件	0件	0件	○
	動物用医薬品販売業者への立入検査（立入検査実施率）	100%	100%	100%	100%	○
	抗菌性物質残留検査（抗菌性物質残留件数）	0件	0件	0件	0件	○
	水産用医薬品残留検査（基準値を超える検体数）	0件	0件	0件	0検体	○
2 製造・加工段階の施策	畜産農家への巡回指導（基準値を超える検体数）	100%	100%	100%	100%	○
	家畜伝染病の発生防止（家畜伝染病発生件数）	8件	8件	17件	0件	×
	製造・加工段階におけるHACCPの推進	2022年度	2023年度	2024年度	目標値	達成
	HACCP実施状況監視指導（製造・加工施設の監視率）	100%	100%	100%	100%	○
	製茶工場合同監視指導（監視率）	100%	100%	100%	100%	○
	水産加工業者向け衛生管理研修会開催（開催回数）	5回	5回	5回	5回	○
	と畜及び食鳥処理場HACCP外部検証（年12回の監視率）	100%	100%	100%	100%	○
3 調理段階の施策	製造・加工段階における監視指導の充実強化	2022年度	2023年度	2024年度	目標値	達成
	食品衛生監視指導（許可施設監視率）	100%	100%	100%	100%	○
	違反が判明した製品の製造者への改善指導（改善率）	100%	100%	100%	100%	○
	添加物製造施設の監視指導（改善率）	100%	100%	100%	100%	○
	添加物に係る違反が判明した施設の改善指導（改善率）	100%	違反なし	100%	100%	○
	アレルギー表示違反が判明した製造者等の改善指導（改善率）	100%	100%	100%	100%	○
	調理段階におけるHACCPの推進	2022年度	2023年度	2024年度	目標値	達成
4 流通・消費段階の施策	HACCP実施状況監視指導（調理施設に対する監視率）	100%	100%	100%	100%	○
	調理段階における食中毒防止対策等の充実	2022年度	2023年度	2024年度	目標値	達成
	大規模食品取扱施設等に対する監視・指導（監視率）	100%	100%	100%	100%	○
	養護・栄養教諭・学校栄養職員講習会実施（講習会実施率）	100%	100%	100%	100%	○
	学校給食衛生管理研修会の実施（研修会実施率）	100%	100%	100%	100%	○
	学校給食の衛生管理に関する学校・調理場訪問（実施率）	100%	100%	100%	100%	○
	鶏肉提供施設への監視・指導（カンピロバクター食中毒件数）	3件	2件	4件	2件以下	×
5 流通・消費段階の施策	流通段階におけるHACCPの推進	2022年度	2023年度	2024年度	目標値	達成
	HACCP実施状況監視指導（販売施設に対する監視率）	100%	100%	100%	100%	○
	青果卸売市場のHACCP指導・検査（検査実施率）	100%	100%	100%	100%	○
	水産物卸売市場向け衛生管理研修会開催（開催回数）	3回	3回	3回	3回	○
	流通・消費段階における監視指導の充実強化	2022年度	2023年度	2024年度	目標値	達成
	違反が判明した製品の販売者への改善指導（改善率）	100%	100%	100%	100%	○
	青果卸売市場の指導・検査（検査実施率）	100%	100%	100%	100%	○
6 その他の安全確保の施策	水産物卸売市場の指導・検査（検査実施率）	100%	100%	100%	100%	○
	違反・不良流通食品に対する処理（完了率）	100%	100%	100%	100%	○
	輸入食品の収去検査（検査全体に対する輸入食品割合）	22.6%	22.0%	22.7%	10%以上	○
	違反が判明した輸入者等への改善指導（改善率）	100%	100%	100%	100%	○
	医薬品類似食品の試買調査（検体件数）	6検体	6検体	6検体	6検体	○
	流通食品の放射性物質検査（検査検体数）	150検体	145検体	110検体	100検体	○
	自主管理体制推進の支援	2022年度	2023年度	2024年度	目標値	達成
7 その他の安全確保の施策	食品衛生推進員活動事業（食品衛生推進員による指導件数）	60,519件	57,752件	58,777件	55,000件以上	○
	静岡県ミニHACCP承認（承認事業所）	17件	12件	9件	20件	×
	食品の安全情報発信の充実	2022年度	2023年度	2024年度	目標値	達成
	食品の安全性に関する緊急情報の発信（緊急情報発信回数）	6回	13回	54回	適時	○
	食品に係る危機管理体制の充実	2022年度	2023年度	2024年度	目標値	達成
	内部点検・外部精度管理（指導事項に対する改善率）	100%	100%	—	100%	○



2 消費者の食に対する信頼確保

成果目標	2022年度	2023年度	2024年度	目標値	達成
食の安全に対する県民の信頼度	73.1%	74.0%	72.6%	80%以上	×

正しい知識の普及啓発	消費者・生産者・事業者・行政の相互理解の推進	2022年度	2023年度	2024年度	目標値	達成
38	タウンミーティング・意見交換会等の開催（開催回数）	11回	12回	12回	10回以上	○
39	（満足した参加者の割合（％））	92.8%	90.4%	94.6%	80%以上	○
40	寄せられた意見の反映状況やQ&Aの公開（公開回数）	4回	4回	4回	4回以上	○
41	消費者の正しい知識習得への支援	2022年度	2023年度	2024年度	目標値	達成
	食の安全に関する学習機会の提供（食品安全出前講座の開催回数）	19回	16回	18回	10回	○
42	食品に係る危機管理対応の充実	2022年度	2023年度	2024年度	目標値	達成
	「食の総合相談窓口」に寄せられた相談への対応（完了率）	100%	100%	100.0%	100%	○
43	食品の安全・安心に関する情報発信の充実	2022年度	2023年度	2024年度	目標値	達成
44	ちゃっぴーの食品安全インフォメーション事業（情報提供回数）	24回	24回	24回	24回以上	○
45	（情報提供先（件））	729件	729件	729件	800件以上	×
46	食品検査の合格等安全情報提供（情報提供回数）	37回	39回	47回	35回以上	○
47	安全・安心情報のデジタル化	2022年度	2023年度	2024年度	目標値	達成
48	食の安全・安心に関するデジタル情報の活用促進（HPアクセス数）	4,884件	4,668件	3,561件	7,000件以上	×
49	バイ・シズオカ オンラインカタログ（出店数）	504店舗	566店舗	令和7年10月確定	600店以上	○
50	SNS等による学校給食や学校における食育等の情報提供（情報提供回数）	28回	40回	50回	24回以上	○
51	新たな表示制度による適正表示の推進	2022年度	2023年度	2024年度	目標値	達成
52	食品表示調査（調査件数）	18,765件	18,871件	17,129件	15,000件以上	○
53	食品表示合同監視指導（監視指導件数）	102件	103件	109件	100件	○
54	製茶工場合同監視指導（不適正な表示割合）	50%	67%	33%	0%	×
55	不適正な表示商品の排除（お茶）（不適正な表示割合）	20%	7%	33%	0%	×
56	農産物直売所等におけるしいたけ品質表示内容指導（不適正な表示割合）	4%	8%	16%	0%	×
57	水産物表示研修会の開催（研修会回数）	5回	5回	5回	5回	○
58	遺伝子組換え食品の監視指導・検査（違反件数）	0件	0件	0件	0件	○
59	県産食品の信頼確保	2022年度	2023年度	2024年度	目標値	達成
60	貝毒検査・原因ブラントンのモニタリング調査（貝毒中毒事故発生件数）	0件	0件	0件	0件	○
61	養殖魚に関する情報発信活動（活動回数）	2回	3回	3回	3回	○
	食の都ブランド適正表示マーク使用店舗に対するフォローアップ（講習会回数）	3回	3回	3回	3回	○
	家畜個体識別システムの円滑な稼働推進（耳標装着・情報入力実施率）	100%	100%	100%	100%	○
	量販店等と連携した地産地消の推進（地産地消フェア取組支援企業数）	18企業	16企業	22企業	20企業	○
	しずおか食セレクションのブランド力の向上（販売額）	584億円	602億円	令和7年11月確定	600億円（2025年度）	○



「しずおか食の安全推進のためのアクションプラン（2022-2025）」事業実績評価一覧

1 生産から流通・消費における食品の安全確保

番号	成果目標	現状値 (2021年度)	実績 (2022年度)	実績 (2023年度)	実績 (2024年度)	目標値	担当課
1	人口10万人当りの食品を原因とする健康被害の発生日数	0.8人	4.4人	10.0人	11.2人	10人以下	衛生課
	目標未達成	<p>【評価】 2019年度に初めて目標を達成し、2023年度まで連続して目標を達成した。コロナ禍後、2023年度の冬季から特にノロウイルス食中毒が多発し、2024年度はノロウイルス7件、うち政令市で100人を超える発生日数が2件あり、11.2人と目標値を超過。</p> <p>【課題】 全国的にもコロナ禍前の、発生状況に戻つつある。本県においても、ノロウイルス食中毒を中心に件数・患者規模数ともに増加傾向。</p> <p>発生件数・患者数の上位を占めるノロウイルス食中毒対策が不可欠であることに加え、食品営業施設の能力を大幅に超えた調理による食中毒発生の危険性について周知、指導していく必要がある。</p>					

生産段階におけるGAPの推進

主要事業	管理指標	現状値 (2021年度)	実績 (2022年度)	実績 (2023年度)	実績 (2024年度)	目標値	担当課
2 生産者のGAP導入への支援	GLOBALG.A.P.ASIAGAP、JGAP、しずおか農林水産物認証制度の認証を取得した農場数（重複を除く。）	3,780農場	3,600農場	3,294農場	3,087農場	累計 4,500農場	食と農の振興課
	目標未達成	<p>【評価】 指導者、生産者向け研修開催（10回）、しずおか農林水産物認証制度（以下、「しずおか認証」という）の実地指導（220件）を行い、GAP等認証導入を支援した。一方、既認証施設の廃止や認証自体の廃止により取得農場数が減少した。</p> <p>【課題】 しずおか認証は制度廃止し、国際水準のGAP基準を採用した「しずおかGAP」が新設されるので、現在、しずおか認証を受けている農場等を、認証期限内に「しずおかGAP」の認証基準以上に引き上げるよう支援する必要がある。</p>					

生産者への衛生管理指導の充実

	主要事業	管理指標	現状値 (2021年度)	実績 (2022年度)	実績 (2023年度)	実績 (2024年度)	目標値	担当課
3	農薬・肥料適正使用管理体制強化	県内農産物の農薬取締法違反事例数（件/年）	1件	0件	2件	0件	0件	食と農の振興課
	目標達成	【評価】農薬使用者に対し講習会の開催（46回）及び、立入検査の実施（163件）等により、違反事例なく目標達成した。						
4	動物用医薬品販売業者への立入検査	立入検査実施率（％）	100%	100%	100%	100%	100%	畜産振興課
		立入検査実施数／動物用医薬品販売業者数	129/129	129/129	127/127	127/127		
	目標達成	【評価】動物用医薬品販売業者に対する指導は適正に実施されている。						
5	抗菌性物質残留検査	抗菌性物質残留件数（件/年）	0件	0件	0件	0件	0件	畜産振興課
		検査検体数（件）	30件	30件	15件	15件		
	目標達成	【評価】生産者に対する指導は適正に実施されている。						
6	水産用医薬品残留検査 （養殖魚安全対策事業）	基準値を超える検体数（検体/年）	0検体	0件	0件	0件	0検体	水産資源課
		検査検体数（件）	18検体	18検体	16検体	16検体		
	目標達成	【評価】目標値は達成されており、適切に養殖衛生管理がなされている。						
7	畜産農家への巡回指導	指導実施率（％）	80%	100%	100%	100%	100%	畜産振興課
		巡回指導実施数／畜産農家数	500/628	358/358	334/334	324/324		
	目標達成	【評価】畜産農家に対する巡回指導は適正に実施されている。						
8	家畜伝染病の発生防止	家畜伝染病発生件数（件/年）	3件	8件	8件	17件	0件	畜産振興課
	目標未達成	【評価】 特定の農場でのヨーネ病の発生があり、重点的な検査・摘発・淘汰により疾病の蔓延を防止した。 【課題】 家畜伝染病（法定・監視伝染病）の中には、疾病の特性や農家の飼養形態によりコントロールが難しい疾病が含まれる。発生農場に対しては、継続して検査を実施し摘発することで、正常化を目指す必要がある。						

製造・加工段階におけるHACCPの推進

主要事業		管理指標	現状値 (2021年度)	実績 (2022年度)	実績 (2023年度)	実績 (2024年度)	目標値	担当課
9	HACCP実施状況監視指導	製造・加工施設に対する監視率（％）	-	100％	100％	100％	100％	衛生課
		監視件数/目標監視件数	-	11,825/11,314	13,138/11,935	13,196/13,001		
	目標達成	【評価】監視指導計画に基づく監視により、目標監視件数の達成ができた。						
10	製茶工場合同監視指導	監視率（％）	-	100％	100％	100％	100％	お茶振興課
		監視件数/施設数	-	6/6	6/6	6/6		
	目標達成	【評価】監視指導員及び指導職員の巡回により監視率100％を達成できた。						
11	水産加工業者向け衛生管理研修会開催	開催回数（回/年）	-	5回	5回	5回	5回	水産振興課
	目標達成	【評価】県内5地区にて、地域保健所と連携して開催しており、衛生管理に係る意識啓発を行った。						
12	と畜場及び食鳥処理場におけるHACCPに基づく衛生管理の外部検証	と畜場及び食鳥処理場に対する年12回の監視率（％）	-	100％	100％	100％	100％	衛生課
	目標達成	【評価】外部検証実施計画に基づく監視により、年12回の監視・外部検証を実施した。						

製造・加工段階における監視指導の充実強化

	主要事業	管理指標	現状値 (2021年度)	実績 (2022年度)	実績 (2023年度)	実績 (2024年度)	目標値	担当課
13	食品衛生監視指導	許可施設監視率（％）	100%	100%	100%	100%	100%	衛生課
		監視件数/目標監視件数	39,295/38,263	33,153/32,193	33,041/31,769	32,264/31,770		
	目標達成	【評価】監視指導計画に基づく監視により、目標監視件数の達成ができた。						
14	違反が判明した製品の製造者への改善指導	改善率（％）	100%	100%	100%	100%	100%	衛生課
		違反改善数/違反数	15/15	14/14	22/22	31/31		
	目標達成	【評価】適切な監視指導により目標達成ができた。						
15	添加物製造施設の監視指導	監視率（％）	100%	100%	100%	100%	100%	衛生課
		添加物製造施設監視指導数/添加物製造施設数	89/89	89/89	88/88	92/92		
	目標達成	【評価】監視指導計画に基づく監視により、目標監視件数の達成ができた。						
16	添加物に係る違反が判明した施設の改善指導	改善率（％）	100%	100%	違反なし	100%	100%	衛生課
		違反改善数/違反数	3/3	1/1	-	1/1		
	目標達成	【評価】適切な監視指導により目標達成ができた。						
17	アレルギー表示違反が判明した製造者等の改善指導	改善率（％）	100%	100%	100%	100%	100%	衛生課
		違反改善数/違反数	6/6	8/8	4/4	4/4		
	目標達成	【評価】適切な監視指導により目標達成ができた。						

調理段階におけるHACCPの推進

主要事業		管理指標	現状値 (2021年度)	実績 (2022年度)	実績 (2023年度)	実績 (2024年度)	目標値	担当課
18	HACCP実施状況監視指導	調理施設に対する監視率（％）	-	100%	100%	100%	100%	衛生課
		監視件数/目標監視件数	-	21,308/21,264	20,816/20,495	19,734/19,680		
	目標達成	【評価】監視指導計画に基づく監視により、目標監視件数の達成ができた。						

調理段階における食中毒防止対策等の充実

	主要事業	管理指標	現状値 (2021年度)	実績 (2022年度)	実績 (2023年度)	実績 (2024年度)	目標値	担当課
19	大規模食品取扱施設等に対する監視・指導	重要度の高い施設に対する監視率（％）	100%	100%	100%	100%	100%	衛生課
		監視件数/目標監視件数	1,115/1,110	1,072/1,062	1,062/963	938/873		
	目標達成	【評価】監視指導計画に基づく監視により、目標監視件数の達成ができた。						
20	養護教諭・栄養教諭・学校栄養職員講習会の実施	講習会実施率（％）	95%	100%	100%	100%	100%	健康体育課
		講習会開催数／計画した講習会開催数	19/20	15/15	16/16	16/16		
	目標達成	【評価】衛生管理やアレルギーについての内容も含めた講習会を予定どおり実施した。						
21	学校給食衛生管理研修会の実施	研修会実施率（％）	100%	100%	100%	100%	100%	健康体育課
		講習会開催数／計画した講習会開催数	1/1	1/1	1/1	1/1		
	目標達成	【評価】R6は集合形式で、実習を含めた衛生管理について実施することができた。						
22	学校給食の衛生管理等に関する学校・調理場訪問	訪問実施率（％）	100%	100%	100%	100%	100%	健康体育課
		講習会開催数／計画した講習会開催数	8/8	8/8	6/6	6/6		
	目標達成	【評価】研修会で実施校による改善報告も行い、県内で広く周知することができた。						
23	鶏肉を提供している施設に対する監視・指導	カンピロバクター食中毒の発生件数（件/年）	-	3件	2件	4件	2件以下	衛生課
	目標未達成	【評価】 2022及び2024年度は目標達成できなかったが、政令市を除く発生に限れば、2022年度0件、2024年度1件であり計画期間で発生を抑えられている。 【課題】 引き続き、生又は加熱不十分な鶏肉を原因とするカンピロバクター食中毒が県内で多発していることから、鶏肉等を取扱う事業者に対し監視指導や注意喚起を強化するとともに、消費者に対して効果的に啓発していく必要がある。						

流通段階におけるHACCPの推進

	主要事業	管理指標	現状値 (2021年度)	実績 (2022年度)	実績 (2023年度)	実績 (2024年度)	目標値	担当課
24	HACCP実施状況監視指導	販売施設に対する監視率（％）	-	100％	100％	100％	100％	衛生課
		監視件数/目標監視件数	-	8,718/7,239	7,165/6,429	6,798/6,543		
	目標達成	【評価】監視指導計画に基づく監視により、目標監視件数の達成ができた。						
25	青果卸売市場のHACCPの考え方を取り入れた衛生管理に対する指導・検査	検査実施率（％）	-	100％	100％	100％	100％	農業戦略課
		検査件数/施設数	-	5/5	5/5	3/3		
	目標達成	【評価】毎年度、計画通りの指導・検査が実施できている。						
26	水産物卸売市場向け衛生管理研修会の開催	開催回数（回/年）	-	3回	3回	3回	3回	水産振興課
	目標達成	【評価】水産物流通拠点である卸売市場で、職員及び仲買人等参加型の研修会を開催し、衛生管理に係る意識啓発を行った。						

流通・消費段階における監視指導の充実強化

	主要事業	管理指標	現状値 (2021年度)	実績 (2022年度)	実績 (2023年度)	実績 (2024年度)	目標値	担当課
27	違反が判明した製品の販売者への改善指導	改善率（％）	100%	100%	100%	100%	100%	衛生課
		違反改善数／違反数	3/3	2/2	6/6	1/1		
	目標達成	【評価】適切な監視指導により目標達成ができた。						
28	青果卸売市場の指導・検査	検査実施率（％）	100%	100%	100%	100%	100%	農業戦略課
		青果卸売市場の指導・検査実施数／計画した青果卸売市場の指導・検査実施数	4/4	5/5	5/5	3/3		
	目標達成	【評価】毎年度、計画通りの指導・検査が実施できている。						
29	水産物卸売市場の指導・検査	検査実施率（％）	100%	100%	100%	100%	100%	水産振興課
		水産物卸売市場の指導・検査実施数／計画した水産物卸売市場の指導・検査実施数	6/6	5/5	4/4	7/7		
	目標達成	【評価】水産物流通拠点である卸売市場で、法令等に則った適切な取り扱いがなされているか確認を行った。						
30	違反・不良流通食品に対する処理	完了率（％）	100%	100%	100%	100%	100%	衛生課
		違反・不良流通食品に対する処理完了数／違反・不良流通食品処理数	34/34	28/28	42/42	47/47		
	目標達成	【評価】適切な監視指導により目標達成ができた。						
31	輸入食品の収去検査	食品検査全体に対する輸入食品の割合（％）	22.0%	22.6%	22.0%	22.7%	10%以上	衛生課
		輸入食品検査実施数／食品検査実施数	894/4,055	922/4,080	882/4,003	906/3,995		
	目標達成	【評価】計画的な収去により、目標値を上回る20%超の割合を維持できた。						
32	違反が判明した輸入者等への改善指導	改善率（％）	違反なし	100%	100%	100%	100%	衛生課
		違反改善数／違反数	-	1/1	3/3	1/1		
	目標達成	【評価】適切な監視指導により目標達成ができた。						
33	医薬品類似食品の試買調査	検体件数（検体/年）	6検体	6検体	6検体	6検体	6検体	薬事課
	目標達成	【評価】国（厚労省）と連携した監視活動として実施しており、継続的な実施が必要と考えている。						
34	流通食品の放射性物質検査	検査検体数（検体/年）	146検体	150検体	145検体	110検体	100検体	衛生課
	目標達成	【評価】計画的な収去により、目標値を達成できた。						

自主管理体制推進の支援

	主要事業	管理指標	現状値 (2021年度)	実績 (2022年度)	実績 (2023年度)	実績 (2024年度)	目標値	担当課
35	食品衛生推進員活動事業	食品衛生推進員による食品衛生指導件数(件/年)	-	60,519件	57,752件	58,777	55,000件以上	衛生課
	目標達成	【評価】推進員327名の地道な巡回により目標達成できた。						
36	静岡県ミニHACCP承認	承認事業所(件/年)	25件	17件	12件	9件	20件	衛生課
	目標未達成	<p>【評価】中小規模の衛生管理の向上を目指す事業者のCODEX HACCPの導入に寄与した。</p> <p>【課題】R3のHACCP制度化や民間認証の取得の影響により、当該認証の応募件数が年々減少している。一方で、小規模事業者にとっての衛生管理工場のステップとなるため、引き続き当該事業を支援していく必要がある。</p>						

食品の安全情報発信の充実

	主要事業	管理指標	現状値 (2021年度)	実績 (2022年度)	実績 (2023年度)	実績 (2024年度)	目標値	担当課
37	食品の安全性に関する緊急情報の発信	緊急情報発信頻度(危機管理情報含む)	4回	6回	13回	54回	適時	衛生課 危機政策課
	目標達成	【評価】適時発信し、目標を達成できた。						

食品に係る危機管理体制の充実

食品に係る危機管理業務の状況								
	主要事業	管理指標	現状値 (2021年度)	実績 (2022年度)	実績 (2023年度)	実績 (2024年度)	目標値	担当課
38	内部点検・外部精度管理	指導事項に対する改善率（％）	100％	100％	100％	—	100％	衛生課等
		指摘に対する改善数／指摘事項数	1/1	4/4	1/1	0/0		
	目標達成	【評価】信頼性確保部門の適切な対応により、目標値を達成できた。						

2 消費者の食に対する信頼確保

成果目標		現状値 (2021年度)	実績 (2022年度)	実績 (2023年度)	実績 (2024年度)	目標値	担当課
39	食の安全に対する県民の信頼度	73.7%	73.1%	74.0%	72.6%	80%以上	衛生課
目標未達成		<p>【評価】 過去に目標である80%以上には到達していないが、県内で購入する食品の安全性を信頼する県民の割合は、7年連続で70%以上である。また、昨年度、紅麹の事件により食への信頼が大きく揺らいだ中で、本県の信頼度が大きく低下しなかったことは評価に値する。</p> <p>【課題】 信頼度は、H30年度に70%を超えて以降、横ばいの状況が続いている。 世論調査における食の安全性について、「どちらでもない」の回答が20%程度存在。 この層には、食の安全性や県の食品衛生行政への関心がない県民が含まれるため、さらなる信頼度上昇には、この層の県民からの関心・信頼を得ることが必要となる。様々な方法、あらゆる機会を通じて、より多くの県民に届くよう、分かりやすく、正しい知識の理解普及に努める必要がある。</p>					

消費者・生産者・事業者・行政の相互理解の推進

	主要事業	管理指標	現状値 (2021年度)	実績 (2022年度)	実績 (2023年度)	実績 (2024年度)	目標値	担当課
40	タウンミーティング・意見交換会等の開催	開催回数（回/年）	12回	11回	12回	12回	10回以上	衛生課
		タウンミーティングに満足した参加者の割合（%）	-	92.8%	90.4%	94.6%	80%以上	
	目標達成	【評価】県下7保健所及び食肉衛生検査所で各1回以上実施し、満足度は非常に高く、各地域県民の意見の吸い上げができた。						
41	寄せられた意見の反映状況やQ&Aの公開	公開頻度（回/年）	4回	4回	4回	4回	4回以上	衛生課
	目標達成	【評価】年4回の頻度で、HP（フード・ゲートウェイ）にてTM実施結果の報告とともに公開した。						

食品の安全・安心に関する情報発信の充実

主要事業		管理指標	現状値 (2021年度)	実績 (2022年度)	実績 (2023年度)	実績 (2024年度)	目標値	担当課
42	ちゃっぴーの食品安全インフォメーション事業における情報の提供	情報提供回数（回/年）	24回	24回	24回	24回	24回以上	衛生課
		情報提供先（件）	729件	729件	729件	729件	累計 800件以上	
	目標未達成	【評価】 月2回のペースで、時期や事案発生に応じた情報提供を実施した。 【課題】 現在の対象（大型スーパー等）の拡大は難しく、情報提供先や提供方法を新たに検討する必要がある。また、情報提供先数、揭示店舗数の正確な把握が困難である。						
43	食品検査の合格等安全情報提供	情報提供回数（回/年）	43回	37回	39回	47回	35回以上	衛生課
	目標達成	【評価】月3回以上情報提供（HP更新と記者提供資料）を行い、目標を達成できた。						

安全・安心情報のデジタル化

主要事業		管理指標	現状値 (2021年度)	実績 (2022年度)	実績 (2023年度)	実績 (2024年度)	目標値	担当課
44	食の安全・安心に関するデジタル情報の利用及び活用の促進	しずおか食の安全推進委員会が作成するホームページへのアクセス数（件/年）	-	4,884件	4,668件	3,561件	7,000件以上	衛生課
目標未達成		<p>【評価】 周知方法の工夫がなかったこと、傘下ページの階層やリンクの不適もあり、アクセス数を増やすことができなかった。</p> <p>【課題】 HPを充実させるだけの「待ちの情報発信」では、アクセス数が伸びないため、より効率的・効果的な周知が必要。</p>						
45	バイ・シズオカ オンラインカタログ	「バイ・シズオカ オンラインカタログ」出店数(店)	150店舗	504店舗	566店舗	令和7年 10月確定	累計 600店以上	マーケティング課
目標達成		2024年度実績確定後に記載						
46	SNS等による学校給食や学校における食育等の情報提供	情報提供回数（回/年）	-	28回	40回	50回	24回以上	健康体育課
目標達成		【評価】昨年よりも大幅に上回る回数で給食内容や研修内容についてInstagramを更新した。						

消費者の正しい知識習得への支援

主要事業		管理指標	現状値 (2021年度)	実績 (2022年度)	実績 (2023年度)	実績 (2024年度)	目標値	担当課
47	食の安全に関する学習機会の提供	食品安全出前講座の開催回数（回/年）	16回	19回	16回	18回	10回	衛生課
目標達成		【評価】事業者や県民向けに、食品表示を主とした食品安全に係る学習機会を、安定して提供することができた。表示制度の改正が頻繁にあったため、講座の講師派遣のオフナーも多く、目標値を大幅に上回る開催ができた。						

新たな表示制度による適正表示の推進

	主要事業	管理指標	現状値 (2021年度)	実績 (2022年度)	実績 (2023年度)	実績 (2024年度)	目標値	担当課
	食品表示調査	調査件数（件/年）	17,325件	18,765件	18,871件	17,129件	15,000件以上	衛生課、 県民生活課
	目標達成	【評価】県下7保健所の食品衛生監視員及び衛生課の巡回、また県民生活センターの職権探知等に基づく調査により目標達成。						
	食品表示合同監視指導	監視指導件数（件/年）	101件	102件	103件	109件	100件	衛生課、 県民生活課
	目標達成	【評価】県と政令市の関係機関が連携し、効率的かつ効果的に、表示の適正化を図る貴重な機会となっている。						
製茶工場合同監視指導	不適正な表示割合（％）	33%	50%	67%	33%	0%		お茶振興課
	不適正表示事項数/製茶工場合同監視指導件数	4/12	3/6	4/6	2/6			
目標未達成	【評価】 最新の食品表示制度の周知を兼ねて、対象施設を計画的に合同監視した。一部で軽微な不適正表示があったが、都度、現地指導により適正表示への是正を行った。 【課題】 対象施設を一巡し、必要な指導、是正を行ったため、今後、合同監視は縮小していくが、所管課による通常の立入りにおいて、継続的に適正表示の確認を実施をしていく必要がある。							
不適正な表示商品の排除（お茶）	不適正な表示割合（％）	7%	20%	7%	33%	0%		お茶振興課
	不適正な表示商品（お茶）/表示確認件数	2/30	3/15	1/15	5/15			
目標未達成	【評価】 最新の食品表示制度の周知を兼ねて、対象施設を計画的に合同監視した。一部で軽微な不適正表示があったが、都度、現地指導により適正表示への是正を行った。 【課題】 対象施設を一巡し、必要な指導、是正を行ったため、今後、合同監視は縮小していくが、所管課による通常の立入りにおいて、継続的に適正表示の確認を実施をしていく必要がある。							
農産物直売所等におけるしいたけ品質表示内容指導	不適正な表示割合（％）	-	4%	8%	16%	0%		林業振興課
	不適正な表示商品（しいたけ）/表示確認件数	-	5/118	10/126	20/128			
目標未達成	【評価】 最新の食品表示制度の周知を兼ねて、対象施設を計画的に合同監視した。不適正表示については、原材料名に、原木・菌床の別の記載がない事例が多く見られ、都度、現地調査により適正表示への是正を行った。 【課題】 対象施設のすべてを一巡し、必要な指導、是正を行った。今後、しいたけの合同監視は廃止となるが、所管課による通常の立入りにおいて、継続的に適正表示の確認を実施をしていく必要がある。							
	水産物表示研修会の開催	研修会回数（回/年）	4回	5回	5回	5回	5回	水産振興課
	目標達成	【評価】県内5地区にて、地域保健所及び県民生活局と連携して開催しており、衛生管理に係る意識啓発を行った。						
遺伝子組換え食品の監視指導・検査	違反件数（件/年）	0件	0件	0件	0件	0件		衛生課
	検査検体数（件）		60件	40件	40件			
	目標達成	【評価】計画的な収去を行い、目標値を達成できた。						

県産食品の信頼確保

主要事業	管理指標	現状値 (2021年度)	実績 (2022年度)	実績 (2023年度)	実績 (2024年度)	目標値	担当課
貝毒検査・原因プランクトンのモニタリング調査	貝毒中毒事故発生件数（件/年）	0件	0件	0件	0件	0件	水産振興課
	検査検体数（件）	40件	40件	40件	50件		
目標達成	【評価】浜名湖にて貝毒プランクトンのモニタリング及び検体検査を実施し、安全を確認した。						
養殖魚に関する情報発信活動 （海面養殖業高度化推進事業）	活動回数（回/年）	3回	2回	3回	3回	3回	水産資源課
目標達成	【評価】R6年度は若年層を中心に養殖魚切り身の無償提供及びリーフレットの配布等による安全性の啓発活動を実施している。						
食の都ブランド適正表示マーク使用店舗に対するフォローアップ	講習会回数（回/年）	-	3回	3回	3回	3回	衛生課
目標達成	【評価】継続的に事業者支援を行えている。						
家畜個体識別システムの円滑な稼働推進	牛個体識別耳標の装着・情報入力実施率（％）	100%	100%	100%	100%	100%	畜産振興課
	牛個体識別耳標装着・情報入力済数/牛個体識別耳標装着・情報入力対象数	32,900/32,900	33,200/33,200	34,100/34,100	33,539/33,539		
目標達成	【評価】全ての牛について個体識別耳標装着と情報入力について対応がなされた。						
量販店等と連携した地産地消の推進	地産地消フェア取組支援企業数（企業/年）	21企業	18企業	16企業	22企業	20企業	食と農の振興課
目標達成	【評価】22企業と連携して地産地消を推進し、目標達成した。						
しずおか食セレクションのブランド力の向上	しずおか食セレクション販売額（億円）	483億円	584億円	602億円	令和7年11月確定	600億円 （2025年度）	マーケティング課
目標達成	2024年度実績確定後に記載						

食品に係る危機管理対応の充実

主要事業	管理指標	現状値 (2021年度)	実績 (2022年度)	実績 (2023年度)	実績 (2024年度)	目標値	担当課
「食の総合相談窓口」に寄せられた相談への対応	完了率（％）	100%	100%	100%	100.0%	100%	衛生課
	相談が完了した数／相談数	48,971/48,971	45,690/45,690	45,510/45,510	48,514/48,514		
目標達成	【評価】R6年度の受付件数は48,514件で、年度内にすべてに対応・処理を行った。						

「しずおか食の安全推進のためのアクションプラン（2026-2028）」基本方針（案）

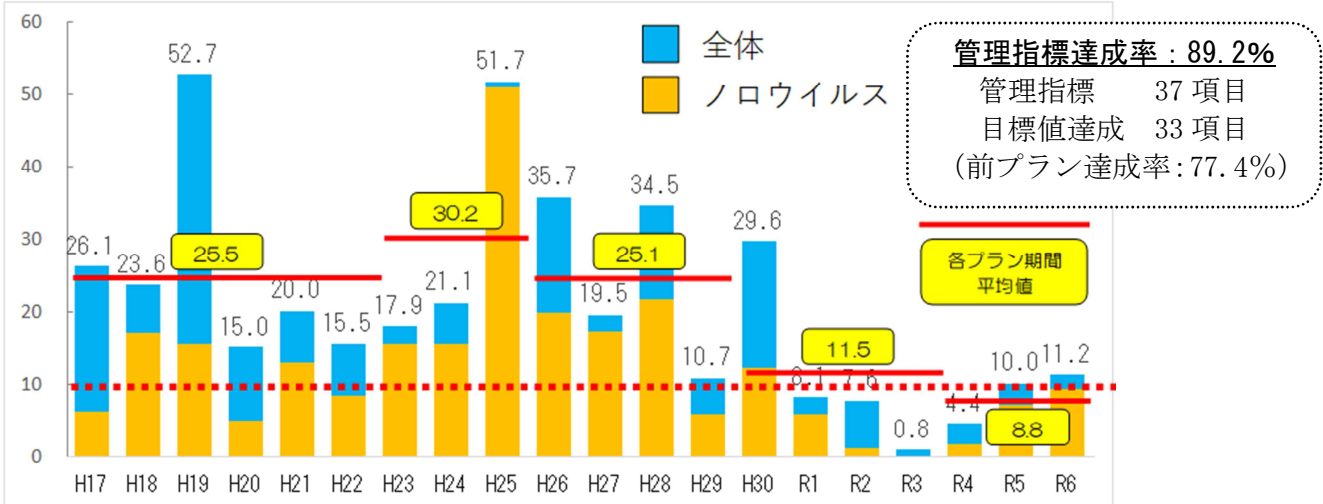
1 計画の概要

- 1 策定の趣旨：「県民への安全で安心できる食品の提供」に向け、生産から流通、消費に至る関係部局（5部局17課）が全庁的に連携し、県民の意見を施策に反映しながら、食の安全・安心を総合的に確保するため策定する。
- 2 位置付け：県総合計画の分野別計画
- 3 計画期間：令和8年度から令和10年度までの3か年
（第1次⑮～⑳、第2次㉑～㉓、第3次㉔～㉖、第4次㉗～㉙、第5次㉚～㉜）

2 成果と課題

○ 生産から流通・消費における食品の安全確保

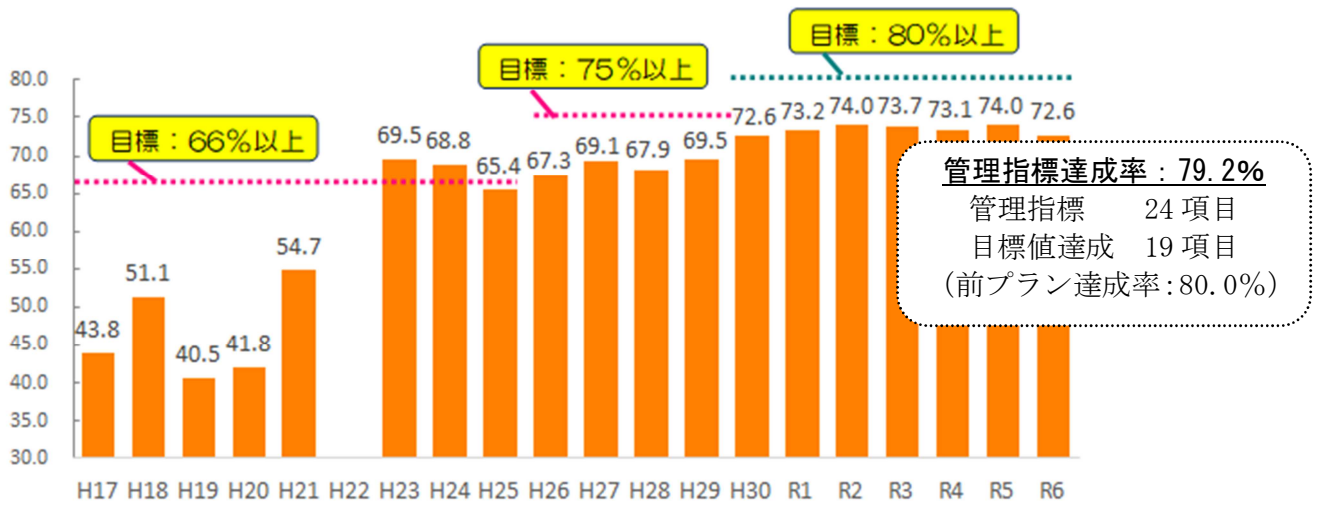
【成果目標】「人口10万人当たりの食品を原因とする健康被害の発生者数：10人以下」



- 【成果】・R6年度は成果目標未達成であったが、各プラン期間では、健康被害者数は確実に低下。
・R6年度の管理指標達成率は約90%であり、実績値11.2人は目標に接近している。
- 【課題】・目標達成に向けて、管理指標100%の達成を目指し、現行の取組の継続・積上げが必要。
・成果目標達成のためには、健康被害者の多数を占めるノロウイルス食中毒の防止が必要。

○ 消費者の食に対する信頼確保

【成果目標】「食の安全に対する県民の信頼度：80%以上」



- 【成果】・信頼度はH20年度の40%台から徐々に上昇し、H30以降70%台で横ばいの状況が続いている。
・昨年度は全国的な健康食品問題が発生したが、信頼度の落ち込みは小さかった。
- 【課題】・HPを刷新し充実させたが、アクセス数が伸びず、情報発信の裾野も広がっていない。
・信頼度上昇には、食の安全性に関心のない県民（約20%）に関心に向けてもらうことが必要。
・安全確保の施策を適正に実施し、地道な情報発信による積上げが重要。

3 食を取り巻く状況変化

- 食中毒の全国的な発生増加
コロナ禍後、食中毒が全国的に増加傾向にあり、広域かつ大規模な食中毒や施設能力を大幅に超えた受注（変化①）に起因する事件が発生している。県内においても、ノロウイルス食中毒を中心に発生が増加している。
- HACCP（ハサップ）に沿った衛生管理の制度化
HACCPに沿った衛生管理の制度化から4年が経ち、導入・定着を推進する段階から、事業者自らが検証に取組みHACCPの精度向上（変化②）を図る段階へ指導の移行が必要となる。
- コロナ禍後の営業形態の変化の影響
テイクアウト・デリバリーの利用（変化③）、キッチンカーや露店によるフードイベント等が増加（変化④）している。
- SDGsへの関心の高まり
食品ロス削減に向けて、消費者庁が「食べ残し持ち帰り促進ガイドライン（変化⑤）」を策定したことから、飲食店からの持ち帰りに伴う衛生管理を事業者・消費者の双方に啓発する必要がある。

4 施策体系（2つの柱）

○「生産から流通・消費における食品の安全確保」

R元～R4の健康被害者数は、コロナ禍の影響を受け抑えられていた可能性があるため、次期プランにおいても、食を取り巻く状況変化に対応して、引き続き各年度10人以下を目指す。

現行の施策体系では、生産から流通までの「GAP及びHACCPの推進」と「監視指導の充実」をそれぞれ施策として定めてきたが、次期プランでは生産から流通まで「監視指導の充実強化」に一本化することで、食中毒防止対策指導の強化を図る。特に「調理段階における食中毒防止対策等の充実強化」では、成果目標達成に向けて、ノロウイルス食中毒防止対策（課題①）を強化するとともに、新たに、コロナ禍後の営業形態の変化等に対応した啓発、指導を実施する。

○「消費者の食に対する信頼確保」

引き続き、食の安全に対する信頼度80%を目指し、食の安全に関心のない県民に関心に向けてもらうため、情報の届く裾野拡大等により情報発信を強化する。

SNSやホームページなどのデジタル情報発信の強化が必要となるため、これまで施策体系が分かれていた情報発信に関する施策を次期プランでは一本化し、情報発信の充実（課題②）を図る。

【施策体系の変化】

方向性	具体的施策	
	新プラン（案）	現プラン
	対応	
【柱1】 生産から流通・消費における食品の安全確保	1 生産者への衛生管理指導の充実強化	← 1 生産者におけるGAP導入への支援 2 生産者への衛生管理指導の充実
	2 製造・加工段階における監視指導の充実強化	← 3 製造・加工段階におけるHACCPの推進 4 製造・加工段階における監視指導の充実強化
	3 調理段階における食中毒防止対策等の充実強化	← 5 調理段階におけるHACCPの推進 6 調理段階における食中毒防止対策等の充実
	4 流通・消費段階における監視指導の充実強化	← 7 流通段階におけるHACCPの推進 8 流通・消費段階における監視指導の充実強化
	5 自主管理体制推進の支援 (柱2の施策2「食品の安全・安心に関する情報発信の充実」に統合)	← 9 自主管理体制推進の支援 10 食品の安全情報発信の充実
	6 食品に係る危機管理体制の充実	← 11 食品に係る危機管理体制の充実
【柱2】 消費者の食に対する信頼の確保	1 消費者・生産者・事業者・行政の相互理解の推進	← 1 消費者・生産者・事業者・行政の相互理解の推進
	2 食品の安全・安心に関する情報発信の充実	← 2 食品の安全・安心に関する情報発信の充実 3 安全・安心情報のデジタル化
	3 消費者の正しい知識習得への支援	← 4 消費者の正しい知識習得への支援
	4 新たな表示制度による適正表示の推進	← 5 新たな表示制度による適正表示の推進
	5 県産食品の信頼確保	← 6 県産食品の信頼確保
	6 食品に係る危機管理対応の充実	← 7 食品に係る危機管理対応の充実

新アクションプラン【施策体系】（案）

＜現 アクションプラン＞

I 生産段階から流通・消費における食品の安全確保

【目標】人口10万人当たりの食品を原因とする健康被害発生日数 10人以下（主な担当課）

1 生産段階におけるGAPの推進	
(1) 生産者におけるGAP導入への支援	(食と農の振興課)
2 生産者への衛生管理指導の充実	
(1) 農薬の適正な指導と販売の指導	(食と農の振興課)
(2) 動物用医薬品・水産用医薬品の適正使用と販売の指導	(畜産振興課、水産資源課)
(3) 家畜伝染性疾病対策の推進	(畜産振興課)
3 製造・加工段階におけるHACCPの推進	
(1) 食品の製造・加工施設におけるHACCPに沿った衛生管理の推進	(衛生課)
(2) 茶製造施設におけるHACCPに沿った衛生管理の推進	(お茶振興課)
(3) 水産加工施設におけるHACCPに沿った衛生管理の推進	(水産振興課)
(4) と畜場及び食鳥処理場におけるHACCPに沿った衛生管理の推進	(衛生課)
4 製造・加工段階における監視指導の充実強化	
(1) 食品添加物の適正製造・適正使用についての指導の徹底	(衛生課)
(2) 食物アレルギー対策の推進	(衛生課)
(3) 食肉の安全性確保の推進	(衛生課)
(4) と畜検査(BSE検査を含む)・食鳥検査の徹底	(衛生課)
(5) 農水産物の簡易加工・販売への指導の徹底	(衛生課)
5 調理段階におけるHACCPの推進	
(1) 調理施設におけるHACCPに沿った衛生管理の推進	(衛生課)
6 調理段階における食中毒防止対策等の充実	
(1) 学校、病院等集団給食施設への監視指導の実施	(衛生課、教育委員会)
(2) 大量調理施設、ホテル、旅館等の監視指導の徹底	(衛生課)
(3) 食物アレルギー対策の推進	(衛生課)
7 流通段階におけるHACCPの推進	
(1) 卸売市場におけるHACCPに沿った衛生管理の推進	(水産振興課、農業戦略課)
8 流通・消費段階における監視指導の充実強化	
(1) 食品の流通拠点や販売店における監視指導・食品検査の実施	(衛生課、食と農の振興課、農業戦略課、水産振興課)
(2) 流通段階における違反・不良食品の排除	(衛生課)
(3) 輸入食品の監視、検査の実施	(衛生課)
(4) 健康食品の安全対策の推進	(薬事課)
(5) 放射性物質を含む食品の監視・検査の実施	(衛生課、食と農の振興課)
9 自主管理体制推進の支援	
(1) 食品製造・調理段階における自主管理体制推進の支援	(衛生課)
10 食品の安全情報発信の充実	
(1) 食品の安全性に関する緊急情報や食中毒防止への注意喚起	(衛生課、危機政策課)
11 食品に係る危機管理体制の充実	
(1) 関係機関等との連携体制の強化	(衛生課、危機政策課)
(2) 食品による健康被害発生時の調査・原因究明	(衛生課、疾病対策課)
(3) 試験検査・調査研究体制の充実	(環境衛生科学研究所他)

II 消費者の食に対する信頼の確保

【目標】食の安全に対する県民の信頼度 80%以上（主な担当課）

1 消費者・生産者・事業者・行政の相互理解の推進	
(1) 消費者が施策に対し意見を表明できる場の確保	(衛生課)
(2) 食の安全に関するリスクコミュニケーション事業の推進	(衛生課)
2 食品の安全・安心に関する情報発信の充実	
(1) 迅速でわかりやすい情報の提供	(衛生課)
(2) 生産から消費に係る食品に関する情報の収集・提供	(衛生課)
(3) 食品安全検査結果の公表	(衛生課)
3 安全・安心情報のデジタル化	
(1) デジタル技術を有効に活用した情報の発信	(健康増進課、衛生課他)
4 消費者の正しい知識習得への支援	
(1) 静岡県食育推進計画に基づく食育の推進	(県民生活課、健康増進課、衛生課他)
(2) 食品の安全に関する知識の普及や啓発	(衛生課)
5 新たな表示制度による適正表示の推進	
(1) 食品の正しい表示についての指導・啓発	(県民生活課、衛生課、お茶振興課、林業振興課)
(2) 遺伝子組換え食品の表示適正化の推進	(衛生課)
(3) 食物アレルギー対策の推進	(衛生課)
6 県産食品の信頼確保	
(1) 県産食品の安全に関する情報の発信	(食と農の振興課、農芸振興課、畜産振興課、水産振興課、水産資源課、衛生課)
(2) トレーサビリティシステムの推進	(畜産振興課)
(3) 地産地消運動の推進	(食と農の振興課)
(4) GAPの推進	(食と農の振興課)
(5) 県内林産物等に対する放射性物質検査の実施	(衛生課、食と農の振興課他)
(6) 県内農林水産物等のブランド力の向上	(マーケティング課)
7 食品に係る危機管理対応の充実	
(1) 食品に関する苦情や不審情報等への迅速な対応	(衛生課)
(2) 事業者の危機管理対応の啓発、助言	(衛生課)

＜新 アクションプラン＞

I 生産段階から流通・消費における食品の安全確保

【目標】人口10万人当たりの食品を原因とする健康被害発生日数 10人以下（主な担当課）

1 生産者への衛生管理指導の充実強化	
(1) 生産者におけるGAP導入への支援	(食と農の振興課、畜産振興課)
(2) 農薬の適正な指導と販売の指導	(食と農の振興課、衛生課)
(3) 環境に配慮した生産体制の導入・定着(仮)	(食と農の振興課)
(4) 動物用医薬品・水産用医薬品の適正使用と販売の指導	(畜産振興課、水産資源課、衛生課)
(5) 家畜伝染性疾病対策の推進	(畜産振興課)
2 製造・加工段階における監視指導の充実強化	
(1) 食品の製造・加工施設におけるHACCPに沿った衛生管理の推進	(衛生課、お茶振興課、水産振興課)
(2) と畜場及び食鳥処理場におけるHACCPに沿った衛生管理の推進	(衛生課)
(3) 食品添加物の適正製造・適正使用についての指導の徹底	(衛生課)
(4) 食物アレルギー対策の推進	(衛生課)
(5) 食肉の安全性確保の推進	(衛生課)
(6) と畜検査(BSE検査を含む)・食鳥検査の徹底	(衛生課)
(7) 農水産物の簡易加工・販売への指導の徹底	(衛生課)
3 調理段階における食中毒防止対策等の充実強化	
(1) 調理施設におけるHACCPに沿った衛生管理の推進	(衛生課)
(2) 学校、病院等集団給食施設への監視指導の実施	(衛生課、教育委員会)
(3) 大量調理施設、ホテル、旅館等の監視指導の徹底	(衛生課)
(4) 食物アレルギー対策の推進	(衛生課)
(5) 食品提供体制の変化等への対応(仮)	(衛生課)
4 流通・消費段階における監視指導の充実強化	
(1) 卸売市場におけるHACCPに沿った衛生管理の推進	(衛生課、水産振興課)
(2) 食品の流通拠点や販売店における監視指導・食品検査の実施	(衛生課、食と農の振興課、水産振興課)
(3) 流通段階における違反・不良食品の排除	(衛生課)
(4) 輸入食品の監視、検査の実施	(衛生課)
(5) 健康食品の安全対策の推進	(薬事課)
(6) 放射性物質を含む食品の監視・検査の実施	(衛生課、林業振興課)
5 自主管理体制推進の支援	
(1) 食品製造・調理段階における自主管理体制推進の支援	(衛生課)
6 食品に係る危機管理体制の充実	
(1) 関係機関等との連携体制の強化	(衛生課、危機政策課)
(2) 食品による健康被害発生時の調査・原因究明	(衛生課、感染症対策課)
(3) 試験検査・調査研究体制の充実	(環境衛生科学研究所他)

II 消費者の食に対する信頼の確保

【目標】食の安全に対する県民の信頼度 80%以上（主な担当課）

1 消費者・生産者・事業者・行政の相互理解の推進	
(1) 消費者が施策に対し意見を表明できる場の確保	(衛生課)
(2) 食の安全に関するリスクコミュニケーション事業の推進	(衛生課)
2 食品の安全・安心に関する情報発信の充実強化	
(1) 迅速でわかりやすい情報の提供	(衛生課)
(2) 生産から消費に係る食品に関する情報の収集・提供	(衛生課)
(3) 食品安全検査結果の公表	(衛生課)
(4) デジタル技術を有効に活用した情報の発信	(健康増進課、衛生課他)
(5) 食品の安全性に関する緊急情報や食中毒防止への注意喚起	(衛生課、危機政策課)
3 消費者の正しい知識習得への支援	
(1) 静岡県食育推進計画に基づく食育の推進	(県民生活課、健康増進課、衛生課他)
(2) 食品の安全に関する知識の普及や啓発	(衛生課)
4 新たな表示制度による適正表示の推進	
(1) 食品の正しい表示についての指導・啓発	(県民生活課、お茶振興課、林業振興課、水産振興課、衛生課)
(2) 遺伝子組換え食品の表示適正化の推進	(衛生課)
(3) 食物アレルギー対策の推進	(衛生課)
5 県産食品の信頼確保	
(1) 県産食品の安全に関する情報の発信	(水産振興課、衛生課、他)
(2) トレーサビリティシステムの推進	(畜産振興課、衛生課)
(3) 地産地消運動の推進	(食と農の振興課)
(4) 県内林産物等に対する放射性物質検査の実施	(衛生課、林業振興課)
(5) 県内農林水産物等のブランド力の向上	(マーケティング課)
(6) 未来型食品創出教育プログラム(仮)	(新産業集積課)
6 食品に係る危機管理対応の充実	
(1) 食品に関する苦情や不審情報等への迅速な対応	(衛生課)
(2) 事業者の危機管理対応の啓発、助言	(衛生課)

令和 7 年度しずおか食の安全推進委員会関係日程

月 日	事項	摘要
4 月 17 日	健康福祉部長協議	策定概要報告
5 月 26 日	副知事報告（健福 4 計画まとめて）	策定概要報告
5 月 27 日	第 1 回 ワーキング会議	現プランの評価・課題
7 月 14 日	健康福祉部長協議	現プランの評価・課題
8 月 5 日～ 12 日	第 2 回 ワーキング会議（書面）	基本方針（案）の検討
8 月 28 日	健康福祉部長協議	基本方針（案）の検討
9 月～12 月	食の安全推進のためのタウンミーティング	9/9 賀茂 東伊豆町 10/31 中部 島田市 11/7 東部 伊豆の国市 12/19 西部 袋井市
9 月 26 日	第 1 回食の安全推進のための意見交換会	基本方針（案）の説明
9 月 30 日	第 1 回しずおか食の安全推進幹事会	基本方針（案）の確認
10 月 17 日	第 1 回しずおか食の安全推進委員会 （委員長：健康福祉部長）	基本方針（案）の承認
11 月上旬	第 3 回 ワーキング会議（書面）	新プラン（案）の検討
11 月中旬	健康福祉部長協議	新プラン（案）の検討
11 月下旬	第 2 回しずおか食の安全推進幹事会	新プラン（案）の確認
12 月下旬	第 2 回食の安全推進のための意見交換会	新プランの意見聴取
12 月中旬	知事・副知事報告	パブコメ前の報告
12 月下旬～ 1 月下旬	県民意見募集	新プランの意見聴取
2 月中旬	第 3 回しずおか食の安全推進幹事会	新プラン（最終案）の確認
2 月下旬	健康福祉部長報告	新プランの策定
3 月上旬	第 2 回しずおか食の安全推進委員会 （委員長：健康福祉部長）	新プランの承認
3 月中旬	副知事報告	新プランの説明
3 月下旬	新プランの公表	